

命を守る 水のお話



～最強の子育て教室～

命を守る『水』のお話

Contents

はじめに

私が出会った「飲むだけで身体が健康になる水」

痛いのが当たり前の毎日
食の改善と戦う日々
師匠との出会い

赤ちゃんの身体は水で大きく変わる

生まれる前から薬漬け
羊水が変わる
母乳が変わる
赤ちゃんの腸と脳
『先天性』の嘘

子どもの脳を守ろう

子どもの脳は閥門が緩い
脳は洗える
ミネラル不足の子どもたち
こんな症状、心当たりありませんか？
本物の味を知る大切さ

水の真実

自然で身体に良い水はもう地球上に存在しない
ミネラルウォーターの安全性
水道水は本当に安全？
日本の水道管問題
放射性物質の影響

体を壊す水

「これだけは絶対に飲んではいけない！」

子どもの身体・全ては水で変わる

体は水で出来ている
体を温めるのも「水」の仕事
体内酵素は水が無いと働かない
水を変えると、血流が変わる
アトピー肌がきれいに

結局、電解水ってどんな水？

アルカリイオン電解水とは
酸性イオン電解水とは
強アルカリ電解水とは
強酸性水とは

アルカリイオン電解水の底力

腸が元気になれば免疫力が復活する
家族みんなが健康である大切さ
病気は自分の力で治すもの

おわりに

はじめに



地球上の全ての生き物に不可欠なもの、それが「水」です。

お母さんのおなかの中で育つ赤ちゃんは身体のほとんどが「水」。

お母さんが摂取した水によって生まれているのです。

ですから、水の良し悪しは赤ちゃんの全てに作用します。

健康で頭の良い子に育ててほしいと願うなら、まずは水に注目しましょう。

近年急増しているアトピーや喘息などのアレルギー症状等で、すでに身体の調子が良くない子ども

達も心配はいりません。

「水」の力で身体は簡単に変わります。

少しでも早く、改善に向けて良い水をたくさん飲ませてあげてほしいのです。

全ての子ども達に本来の健康な心と身体で逞しく人生を謳歌してほしい。

そんな思いを込めてこの冊子をつくりました。

どうか、お子さんと親御さんの健康な毎日に役立ててください。

私が出会った「飲むだけで身体が健康になる水」



●痛いのが当たり前の毎日

肩こり、腰痛、頭痛、胃痛、全身の倦怠感・・・

いつも身体のあちこちが痛い。中学生の頃からこんな状態が日常となっていました。

根気もやる気も長続きせず、いつまで生きていなくてはならないのかなどと考える日々。

ですが、私以上に様々な辛い症状に悩んでいた母には辛さを訴えることが出来ませんでした。

その母も、病院の治療と薬漬けの状態から脱出できないまま 52 歳で生涯を閉じました。

今の私なら、きっと母を助けてあげられたと思います。

とても残念で悔やんでも悔やみきれない、今でも胸が苦しくなる思い出です。

●食の改善と戦う日々

痛いのが当たり前。そう諦めていた私も、母が亡くなった年に近づいて来たころ、身体の辛さをごまかしながら生きることに限界がやってきました。

短期間で数回、全身が締め付けられ息ができない感覚に襲われ意識を失うことが起こりました。

救急車で運ばれ検査をしましたが特に異常なし。

原因が分からないのに出される大量の薬。その薬を飲んだ後、全身に現れた発疹と浮腫み、そして痛み。「薬は怖い！」心の底から恐怖が湧き上がりました。

幸か不幸か、その時の恐怖から薬を飲むことが出来なくなりました。

薬と縁を切るとともに、生活の見直しを始めました。

まずは食べ物を徹底的に見直したのです。

それまでは忙しいと理由を付けて、添加物たっぷりの加工品やお惣菜を子ども達にも平気で食べさせていました。休日はファストフード店などへも何も考えず、気軽に出向いていました。

ですが、調べれば調べるほどそういった食べ物は化学物質の塊です。

家畜や養殖魚は薬漬けで飼育され、野菜は農薬まみれ、カット野菜は殺菌剤まみれ、調理に使う油や調味料なども中身を知るととても口にする気にはなれない物ばかりなのです。

薬局からもらう薬を断っても、食べ物から入る薬剤を断たなければ意味はない。

ましてや子ども達の口には絶対に入れてはならない！

自分や母が苦しんできた状態を子ども達にまで渡したくない気持ちでいっぱいでした。

私は気付いたのです。

「病気は生活習慣が生み出すもの。親から子へと習慣として受け継がれていくもの。」だと。

身体を育む本物の食材でつくる健康な食卓は、とても素晴らしいものです。

毎日、真剣に取り組み、身体はどんどん元気になっていきました。

ところがこれを続けることは今の日本では、特に都心部ではとても難しいことだということも実感しました。

安心できる健康な食材はスーパーには売っていません。

生協なども利用してみましたが、良いと思えるものもあれば近所のスーパーとそれほど変わらないようなものも多く判断に迷います。

安心できるものを作る生産者さんを探してお取り寄せするのが良いのでしょうけれど、育ち盛りの子ども達にお腹いっぱい食べさせるために必要な食材を毎回お取り寄せしては家計が破綻してしまいます。

さらに、産地偽装など日常茶飯事、オーガニックなどの定義も甘い日本の農産物・畜産物をどこまで信用できるでしょうか。

近年では加工品の原材料などは記載義務も緩くなり、遺伝子組み換え食品などは想像力を駆使しないと、もう見分けがつかません。

食の安全と健康を追求すればするほど八方塞がりとなり、私は新たな悩みを抱えることになってしまいました。

●師匠との出会い

私は、本当に疲れ切っていました。

でも、食に無頓着だった頃に比べると別人のように元気になった自分がいます。

痛いところだらけで精神的に限界を感じていた身体も、気にせず過ごせる時間が増えてきていました。

「何とか維持しなければ」という気持ちと「もう食べ物のことを考えたくない!」という気持ちが日々交錯していた時、友人の紹介で出会ったのが小羽田健雄氏でした。

「私は子どもの時から病気だらけで病院漬け薬漬け、37歳の時にもう死を覚悟する状態でした。」
小羽田氏はそう話し始めましたが、目の前にいる初老の男性は肌艶よくシミ一つありません。とてもお元気そうで、どう見ても死にそうだった人だとは思えません。

「そんな時に、偶然出会った水を飲むことで生き返ったのですよ。」

「え?! 水、ですか?」

「そう、水です。信じられないかもしれませんが。」

その後、小羽田氏は衝撃的な「水の力」について話をし始めました。



どれもこれも驚くばかりのお話であると同時に、とても理にかなった説得力のある内容でした。

この人は間違いなく死の淵で人生を諦めかけていたのだろう。そして、そこから脱出した。

「水」の力で！

一通りのお話を伺った後、私は八方塞がりになった今の自分の苦悩を打ち明けました。

それを聞いた小羽田氏はたった一言で私の悩みをあっという間に解決してくれたのです。

「犬竹さん、そんな生活楽しいの？好きなもの食べたら？水飲んで毒を出せばいいじゃない。」

それまでの苦しみが一瞬で消え去ってしまいました。

そうなのです。出せばいいのです！

それまで入って来るものばかりに頭を悩ませていました。

このままいくと、空気を吸うことも出来なくなっていたかもしれません。

入って来る化学物質を100%防ぐことは不可能です。

ですが「水」の力を味方に付けると既に体内に溜まっている化学物質も外に出すことが出来るのです。

その方法と病の改善例、身体のメカニズムなどをこれからお話します。

私を救ってくれた命の恩人であり、以来たくさんの学びを乞うてきた師匠・(株)生命の水研究所 代表の小羽田健雄から学んだアルカリ電解水という特殊な水の力を、今回は「子育て」という観点からまとめました。

赤ちゃんの身体は水で大きく変わる



●生まれる前から薬漬け

赤ちゃんの命は卵子が受精したその時から始まります。

受精卵はそのほとんどが「水」。母親の体内の水です。母親がどんな生活をしているかがその水に反映されています。

母親が普段食べたり飲んだりしている物に含まれている化学物質（腸から吸収）、シャンプー剤や化粧品などに含まれる化学物質（経皮から吸収）、大気や室内環境の空気内の化学物質（呼吸器から吸収）など、様々な毒素が血中に入り体内を巡ります。

代謝しきれないものは細胞膜のリン脂質に溶け込みます。

こうやって通常は少しずつ体内が汚れてしまい、その汚れの中で赤ちゃんが育っていくのです。

頭痛や生理痛の緩和などのために鎮痛剤を常用している女性も多いようですが、そういった薬の毒も妊娠が分かってから止めるのではちょっと遅すぎます。

赤ちゃんのために、そして何よりも自分のために、毒素を溜めない習慣が大切です。

溜めない身体は痛みとも無縁。美容にもとても効果的です。

●羊水が変わる

小羽田は産婦人科の医師や妊婦さんの協力によって様々な測定からデータを取り、赤ちゃんの健康を観察してきました。

妊婦さんのお腹にエコーを当てて赤ちゃんの様子を見ると、羊水がキラキラ光っている人が多いようです。赤ちゃんが光輝いている??

いえ、このキラキラは化学物質。

羊水の中に食品添加物などの化学物質が漂っているのです。

アルカリ電解水をしっかり飲む習慣をつけるとこのキラキラは見えなくなり、透明できれいな羊水に戻ることが確認されています。

●母乳が変わる

生まれた赤ちゃんへ、母親から一番初めのプレゼントは「良い初乳」であってほしいと思います。

初乳には、その後赤ちゃんがしっかり免疫力を働かせて育っていくための栄養成分が凝縮されています。

ですが、母親の身体の中が良い状態でなければ母親の血液から作られる母乳も良い状態ではないと言えます。ここでも大事なことは母親の身体の内側の環境なのです。

また、近年は母乳が思うように出ない母親も多いのですが、安易に粉ミルクに走らずアルカリ電解水をたくさん飲んでみて下さい。

母乳は母親の血液が原料ですが、水不足でドロドロしている血液からは作られません。

通常よりも多くの水を身体が必要とします。

良い母乳は良い食べ物よりも良い水が最優先で必要なのです。

ちなみに日本で販売されている粉ミルクは遺伝子組み換え原料から作られています。また、米国発のバイオミルクなども同様です。極力母親の母乳で育ててほしいと願います。

母乳は身体の成長だけではなく、赤ちゃんの心の成長にも繋がる尊いものなのでから。



●赤ちゃんの腸と脳

大人の腸と脳には関門があり、簡単に異物が血中や脳内に入り込まないバリアが張り巡らされています。

ところが生まれたばかりの赤ちゃんはこの腸と脳のバリア機能が非常に未熟です。

身体に異物（母乳以外の食べ物、薬類、その他化学物質など）が入ると簡単に脳内に入り込んでしまう危険性があります。生きる機能の全ては脳にあるので、一大事です。

身体に入らない工夫（早すぎる離乳食、ワクチン接種、不要な洗剤、住環境など）を考えると同時に、アルカリ電解水で排出する取り組みをしてください。

（赤ちゃんにアルカリ電解水を飲ませる時の注意点等を巻末に記載しています。）

●『先天性』の嘘

生まれながらに病の状態でもまれて来る赤ちゃんがいます。

こういった子を医療機関では「先天性〇〇」などと病名を付けます。

近年は今までなかった症状のため難病とされ、新たな病名を付けられることも少なくありません。

そういった子たちが急増しています。

先天性などと、あたかも遺伝のような、治る見込みもないような言われ方をしていますが果たしてそれは真実なのでしょうか。

小羽田が医師たちと行ってきたアルカリ電解水治療の中では先天性と言われる症状を抱える人たちもいます。

歩くのも話すのもままならない、一人では生きていけないと思われてきた先天性小児麻痺の患者さんはアルカリ電解水の飲用を続けただけで、一人で転ばずに歩き畑仕事ができるようになりました。

生まれながらに目が見えない盲目の男性は、アルカリ電解水飲用を続けるうちに明かりを感じ取れるようになりました。

もしこの人たちが、小さな頃にアルカリ電解水に出会っていたら他の人と変わらず大人になっていたかもしれません。

先天性とは生まれてくるまでの間に（もしくは生まれてすぐに）化学物質という毒が悪さをしたことによるのではないのでしょうか。

我が子が先天性疾患と言い渡されたとしても、諦めずになるべく早くアルカリ電解水の排毒を試みてください。

前記したように、赤ちゃんの場合は良い母乳が鍵になります。母親がアルカリ電解水でしっかり体内の状態を整え、しっかり水を飲んで作られた母乳を飲ませてあげることで間接的に赤ちゃんは良い水を摂取できます。

決して諦めずに取り組んでいただきたいです。子どもの人生を左右するのは親の愛と決断です。

子どもの脳を守ろう

●子どもの脳は関門が緩い

赤ちゃんは未熟な状態で生まれてくるとお話ししました。

個人差はありますが、おおよそ1歳までは血液脳関門というバリア機能はまだ開いています。

だから血液中の化学物質などの毒素はいとも簡単に脳細胞に入り込んでしまいます。

1歳過ぎれば大丈夫なのか、というところがまた種類によっては大人の脳でも簡単に関門を通過してしまう物質がいくつもあります。

菌やウイルスなどは関門を通ることは出来ません。

ですが、アルコール、ニコチン、カフェイン、薬の成分、脂溶性化学物質なども血液脳関門を通過してしまいます。

つまり、現代社会の中に蔓延している毒素はどれもこれも脳に入り込む危険が大いにあるわけです。

●脳は洗える！

体内に入った重金属が脳に蓄積することで重篤な症状に陥ることが最近増えています。

ワクチン後遺症として報告されている症状の一つには、身体が激しく痙攣し、自分の意志ではどうすることもできない症状があります。

身体が激しく暴れ、柵を付けたベッドからも転がり落ちるほどの状態も報告されています。

これはワクチンに含まれる水銀などの重金属が脳に溜まり、脳内の電気信号に反応して勝手に筋肉が動いてしまっていると考えられます。

同じように、重金属のひとつである銅が代謝できなくなり脳に溜まることで、身体の震えや歩けない、話せないなどの症状を発症するウィルソン病の患者さんに、半年間アルカリ電解水を飲ませることで改善した例があります。

興味深いのは、折角完治して自宅に戻れた上記の患者さんは、自宅の水を飲む生活でまた再発してしまったことです。

再度アルカリ電解水を飲み始め、5か月後に完治。その後はアルカリ電解水を欠かさず飲むことで再発することは無かったという例です。

ウィルソン病は遺伝性の難病で完治することは無いと言われている病ですが、アルカリ電解水を飲むだけの治療で症状は消え、普通通りに仕事ができるようになったのです。

アルカリ電解水を飲むことを新たな習慣にただけでいつも脳の中はきれいな状態になっているのです。

もちろん、きれいになっているのは脳だけではなく身体全体。

ここで気付いて頂きたいのは、「病になる水」と「健康になる水」があるという事実。見た目では全く解りませんが。

身体丸ごと健康な状態を保つにはアルカリ電解水を飲むことを習慣にする。それだけなのです。

●ミネラル不足の子どもたち

ミネラル＝体を丈夫に育てる子どもに絶対欠かせない成分

ですが近年、食生活の内容や食材自体の栄養価が低下していることから子ども達のミネラル不足が心配されています。

子どもにとってミネラルはどんな効果があるのか、体、心、ホルモンの3つの項目に分けて、ご紹介します。

体

- ・子供から大人の身体に成長する過程で、丈夫な歯や骨をつくる
- ・元気よく運動するための、筋肉の働きを助ける
- ・運動をした時には心拍数を上げ、リラックスをしている時には下げるなど、心臓を正常に働かせる
- ・風邪をひいてもすぐに元気になる、肉体疲労の回復
- ・必要なものは吸収して、いらぬものは排毒をする、代謝を助ける
- ・酸素の循環を促し、貧血を予防する

心

- ・やってみたい！できた！意欲好奇心につながる、脳の活性化
- ・いつも明るく元気に、気持ちを安定させる

- ・暴力や人に迷惑のかかることはしない、自己コントロール
- ・朝からすっきり起きられる、気力が出る
- ・集中力をあげる

ホルモン

- ・熱くなったら汗をかく、寒くなったら毛穴を閉じるなど、ホルモンの働きで身体の状態を一定に保つ
- ・健やかに育つための、成長ホルモンの分泌を促す

どれも、子どもの成長の時期にとっても大切なことですよね。

ですが食事から摂れるミネラルはそんなに多くはありません。

食材に含まれているミネラル分は昔に比べて大きく減っているようです。

現在の日本では、戦後から長い間、土壌に化学肥料や農薬を大量にまいた結果、安定的に野菜や果物が収穫できるようにはなりましたが、土壌は栄養が乏しい疲弊したものへと劣化してしまいました。

本来であれば農作物に当たり前に含まれていたはずの栄養素が不足したり、そのバランスが崩れたりして、私たちがビタミン・ミネラルなどの微量栄養素を十分に摂ることが難しくなっているといえます。

たとえば、1950年と2010年で野菜に含まれる鉄の含有量を比べてみると、

ほうれん草で84%、にんじんで90%、トマトでは96%も鉄の含有量が減っていたといえます。

また、加工食品や加工調味料などには天然のミネラルはほとんど含まれていません。

便利な食生活になればなるほどミネラル不足は決定的です。



●こんな症状、心当たりありませんか？

- ・疲れやすい、元気がない、朝起きられない
- ・キレやすい、怒りやすい、すぐ機嫌が悪くなる、いつもイライラしている
- ・すぐ風邪をひく、体調が悪くなりやすい

参考：

「抑うつ症状とミネラル摂取との関係—断面調査の結果から—」

「代替医療としてのビタミン・ミネラル」

食事からのミネラルが取りにくくなっている現代社会。

だったらサプリ？という発想から様々なサプリメントが販売されていますが、果たしてそれらは

安全なのでしょうか。身体に有効なものなのでしょうか。

数多くの商品からそれを見極めるのは極めて困難なことです。

実はそのようなものに頼らなくても、水道水にはたくさんのミネラルが含まれています。

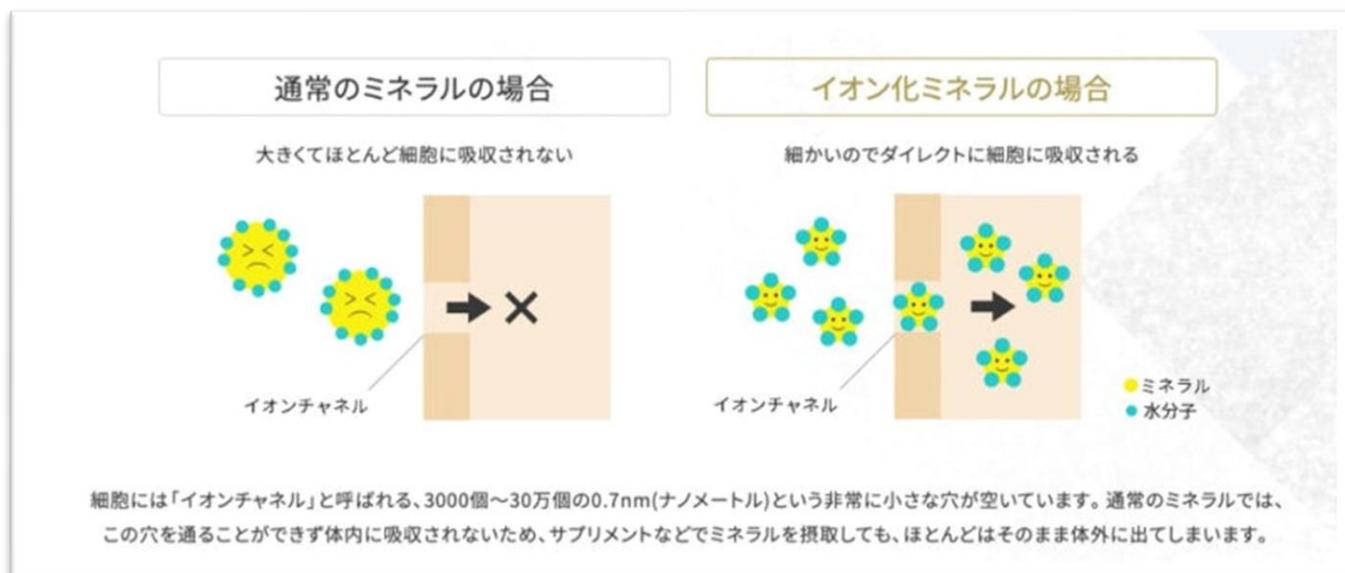
その水道水を電気分解してつくるアルカリ電解水にはイオン化したミネラルが水道水の2倍含まれています。

イオン化することで、そのミネラル分はほぼ100%身体に吸収します。

たとえばカルシウムの多い小魚などは子どもの成長に有効と思われていますが、実は身体に吸収できるカルシウム量はそれほど多くはありません。

分子が大きくて吸収できないのです。

子ども達がミネラルをしっかりと摂ることは体調が整うことはもちろんですが、骨の成長にも大いに期待できます。ぜひイオン化したカルシウムを水から摂取させてあげましょう。



●本物の味を知る大切さ

アルカリ電解水は飲んで体内の毒を排出すると同時に、野菜に付着している農薬や殺菌剤などの化学物質を溶かして洗い流すことができます。

このような汚れは油性で、植物の表面を包み込むように付着しています。

普通の水道水では洗ってもほとんど落とすことは出来ません。

アルカリ電解水は油を溶かす力があり、pH値が高くなればなるほど力が強くなります。

この力を使って野菜の表面の汚れを根こそぎ洗い流すことができます。

トマトを使って汚れを落とす実験を見ていただきましょう。



スーパーで買ったプチトマトを水道水とアルカリ電解水に漬けてみました。

水を注いですぐに色の変化が見られます



汚れを落としやすくするためにかき混ぜてみます。

アルカリ電解水の方は水の色が濃くなってきました。



明らかに水の色が変わっています。

分かりやすいようにトマトを取り出してみましよう。



これがアルカリ電解水の洗浄効果です。

トマトの表面に付いた汚れ（農薬や放射性物質など様々なもの）が水に溶け出しました。

味は雑味の無いすっきりとした味わい（トマト本来の味）になります。

いかがですか？

私は野菜だけではなく、お肉もこの方法で洗っています。

（薄切り肉はボウルに入れてアルカリ電解水を注ぎざっと振り洗い。塊肉はミネラル豊富な海塩を溶かしたアルカリ電解水に数時間浸けておくと毒出しだけでなくほんのり塩味が付き美味しく調理できます。なるべく良い塩を使ってくださいね。）

こうすることで新たな化学物質が身体に入ることを防げるだけでなく、雑味や臭みが取れて圧倒的に美味しくなります。

次はお茶葉を使って「素材の中の成分を引き出す」実験をご覧くださいませう。

水道水とアルカリ電解水のコップにお茶の葉を入れてみます。



同じ分量のお茶の葉を入れてみました。

すぐに変化が見られます。どちらがアルカリ電解水かわかりますか？



かき混ぜてみると一目瞭然！

向かって左がアルカリ電解水です。水なのにお茶が非常に濃く出ています。



水だし茶として飲むのは健康的にもとても有効なのですが・・・

子ども達にはぜひお茶の代わりに**昆布や煮干しに変えてお出汁を作ってあげてください！**

アルカリ電解水を使うと短時間で美味しいお出汁が出来ます。

こびりついた汚れを落とした、本来の野菜の味。

化学調味料に頼らず、昔ながらの本物の出汁の味。

普段からこういったものを食べることで、子ども達の味を感じる力が広がり脳の発達を促します。

化学調味料は便利ではありますが、味蕾（味を感じる器官）が潰れてしまい繊細な味を感じ取ることが出来なくなってしまいます。

子どもの時に豊かな味を感じ取るとは大人になってからの大きな財産となります。

アルカリ電解水を上手に使って、子ども達の味覚を育ててあげましょう。

水の真実

●自然で身体に良い水はもう地球上に存在しない



緑に囲まれた山々から湧き出る湧き水、美しく澄んだ川の水、パワースポットと言われる地域の

地下水脈、どれもきれいで安全に体を癒す水のように見えますが・・・

実際はどうなのでしょう。

ここからは地球環境という視点から「水」を見てみようと思います。

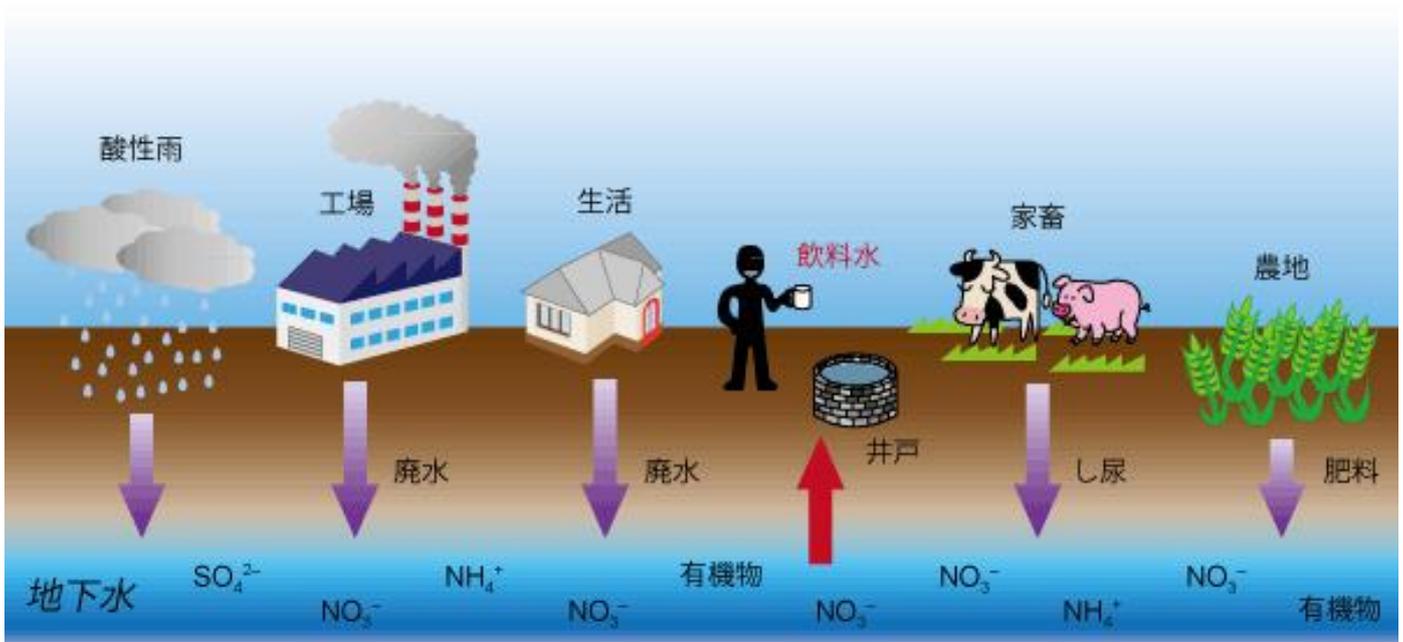
●ミネラルウォーターの安全性



一見きれいで安全そうな水ですが、大量の農薬や化学肥料などの化学物質、工業廃棄物などが地中に染み込み地下水や湧き水に混入しています。一度混入すると長期にわたって飲用が不可能となります。中国からの黄砂、PM2.5、水銀、大気中の化学物質が雨に含まれ流れ込みます。

汚れた水が地下水となり、海に流れ蒸発し、気流に乗って世界中に降り注いでいます。

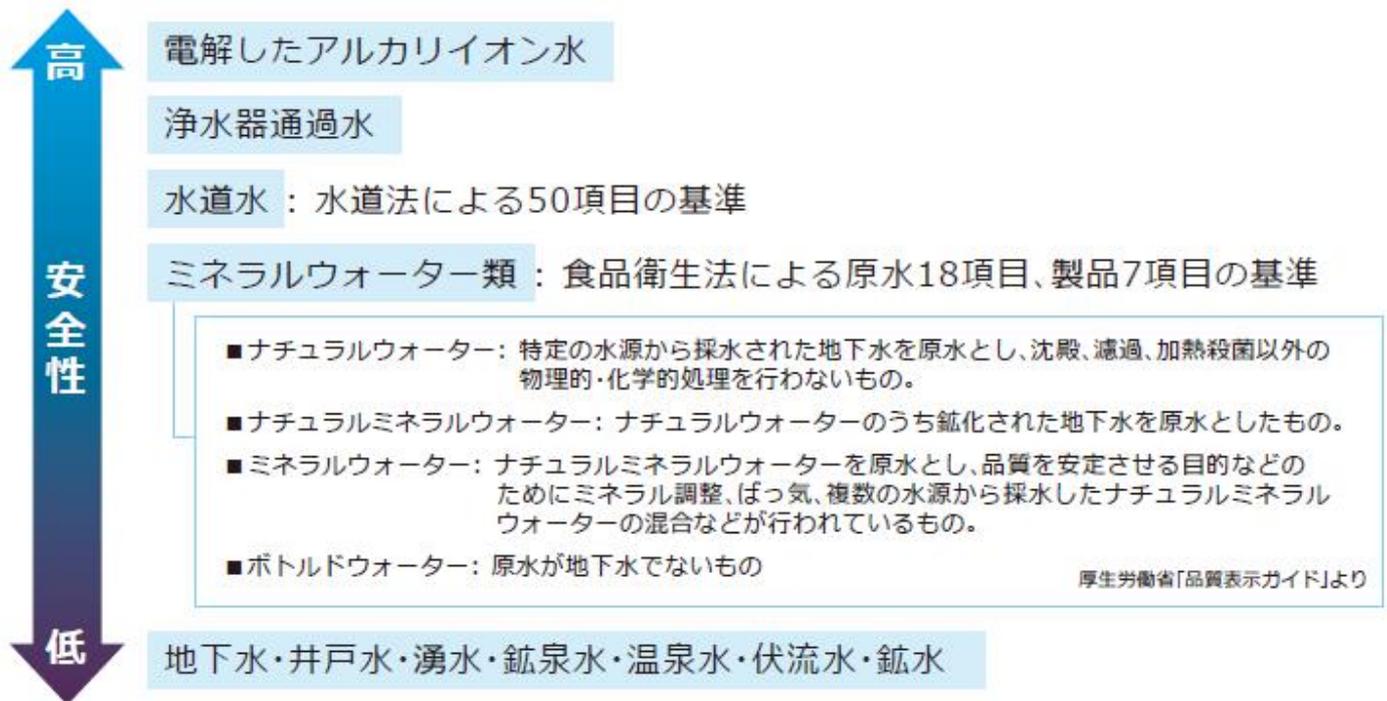
残念ですが、既に地球上には安全な自然の水は存在しません。



ということは・・・?!

ミネラルウォーターって、何なのでしょう？

本当に飲んでも大丈夫なのでしょう？



◆ ミネラルウォーターは、水道水よりも水質基準がゆるく（砒素濃度が水道水の5倍まで認められるなど）、また水質検査間隔などの規制もゆるい

◆ 過剰な地下水の採取により近年、地下水の水位の低下や混濁が起きている

万が一の健康被害が起きないように全て煮沸消毒してボトリングしているのが日本のミネラルウォーターの現状です。

消毒は、菌による被害は起こらないとしても農薬や化学廃棄物の成分などは入ったまま。頻繁に

飲むことで確実に健康被害に繋がるのではないのでしょうか。

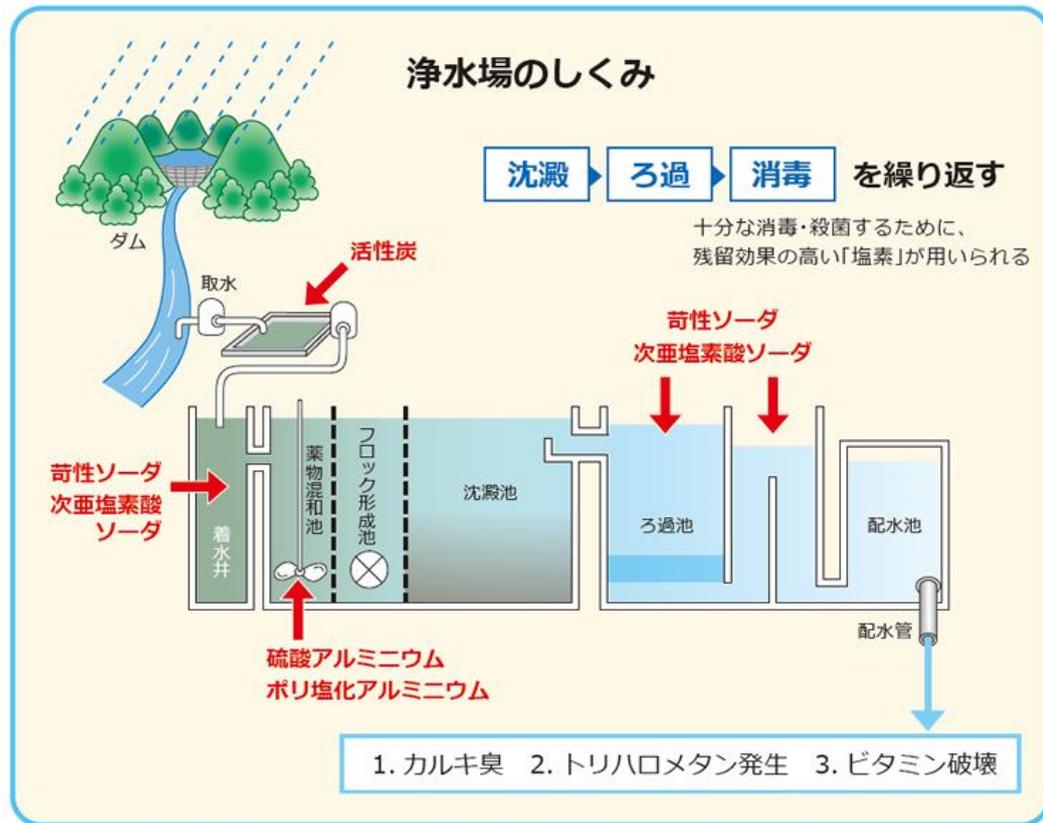
「たとえば塩素まみれだとしても水道水の方がはるかにマシ」

残念ですが、これが今の日本の現状です。

●水道水は本当に安全？

日本の水道水の普及率は98%に及び、日本の水道水は「世界一安全な水」と言われてきました。

確かに水道水は安全に違いありません。しかし、新たな問題が起こっていることも事実です。



◆ 浄水場では急速ろ過が採用され、汚濁物質・ウイルス・細菌類・原虫類・藻類・重金属・農薬・医薬品・洗剤・その他の合成化学物質を取り切ることができない

◆ 浄水場では随所で薬剤が多めに投入されるので、沈澱しきれないものが上澄みに残り、急速ろ過を通過して家庭の蛇口に運ばれる

◆ 取りきれなかった物質と薬剤が化学反応を起こすと、発がん性物質「トリハロメタン」が発生する

◆ 煮沸すれば塩素は無くなるが、トリハロメタンは増加する

<結論>

蛇口から出て来る水道水をそのままは飲用しない！

調理に使わない！ 食材洗いに使わない！

(最低でも浄水器設置は必須です)

●日本の水道管問題



浄水場から送られてくる水道水にも健康上の理由で直接飲めない理由がありましたが、給水管にも直接飲めない理由があります。

給水管を内視鏡で見ると・・・

入れた直後に、管が錆びて真っ赤になっている姿が映し出されました。

少し奥のカーブ部では、汚れがこぶのように盛り上がり、内視鏡を引き上げるとヘッドロが舞い上がりました。

赤い色は、さびと発がん物質 MDA（メチレンジアニリン） 他の付着物は、細菌由来（乳酸・酢酸・グリシン・グリコーゲン・ギ酸）

給水管内壁付着物の分析結果



築21年 埼玉市Sマンション
管のさび止め工事施工

【測定・分析の結果】
発がん性物質
2000ppm検出
許容濃度の**20,000**倍



北新宿Pマンション
温水器前のバルブ

【測定・分析の結果】
発がん性物質
2.7ppm検出
許容濃度の**27**倍



久里浜Lハイツ



大田区池上マンション



武蔵野市商業ビル

**WHO(世界保健機構)が水道施設で全面使用禁止の
MDA(メチレンジアニリン)検出!**

- ◆ 配水本管や配水支管から管路補強に使用された樹脂とその硬化剤（発がん性物質 MDA）が経年劣化で剥がれ落ちて流れ出す
- ◆ 給水管内壁に付着した発がん性物質が流れ出す可能性がある
- ◆ 給水管内壁に生息する細菌や細菌由来の化合物が流れ出す可能性がある
- ◆ 給水管内壁に付着した赤サビが細菌繁殖の温床になっている

日本の老朽化した水道管を全て取り換えるには、膨大な予算が必要となるので、情報の露出は控えられています

●放射性物質の影響

福島第一原発事故から12年となりましたが、現地の状態はあまり変わっていないようです。

放出されている放射性物質は気流に乗って各地へ広がり水源にも混入しています。

水道水は水質調査をしています、井戸水ミネラルウォーターなどは安心とは言えません。

■現状

- 放射性物質の放出量は大幅に減少した状況で推移
- 福島近隣地域以外では空間線量は平常時の範囲に
- 放射性セシウムは地表面に残留
- 大気中の放射性物質は事故後の雨で既に減少
- 強い降雨時に、放射性セシウムを吸着した土壌等が河川に流出し、水道原水に流入した可能性
- 放射性セシウムが水道原水に流入しても濁度管理、通常の浄水過程により濁質成分と共に除去される
- 放射性セシウムは地下に容易に浸透せず地表面に残留

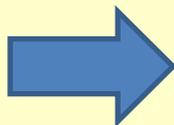
ダムからの取水池で活性炭を追加するため、この時点で放射性ヨウ素の6~7割が除去できる。

さらに浄水場でアルミニウムを凝集剤として用いて沈澱させ、きれいな部分のみを次の浄水処理に使うため、配水時にはかなり浄化される。

水道水は放射能汚染を取り除けるかもしれないが 汚染された食品はどうすればいいの？

放射性物質は水で洗い流せる

放射性セシウム CS-137
ストロンチウム Sr-89/90
は水に溶けやすい



- 水道水洗いで30%取れる
- 皮をむくと20~50%取れる
- 煮ると40~60%取れる

どうすれば100%取り除くことができるのか？

トマトの実験でご覧いただいたように、アルカリ電解水で食材を洗うことで放射性物質の大半を除去することが可能です。

体を壊す水



福島第一原発の事件が起こった後、水道水に放射性物質が混入しているということで大騒ぎになりました。そのあたりから注目され始めたのが「純水」。

「ピュアウォーター」とも呼ばれていて、とてもクリーンな綺麗なイメージの水です。

この水は名前の通り、全く何も入っていない H₂O。精密機器の洗浄などに使われる高純度の水です。何も入っていないから安心と売り出され大人気となりましたが、純水をそのまま飲むと体が保持している大事なミネラルや血中酸素が溶け出してしまい、大きく健康を損ないます。

ミネラル不足は、さまざまな病気を引き起こす原因となるのです。

一昔前までは中学校の理科で「純水は飲んではいけない」ととりあげていましたが、現在は理科教諭の指導書からも外れています。

スーパーで無料配布している水などはこの「純水」が多く、金魚を入れるとすぐに死んでしまいます。使うなら洗い物などの水として、**くれぐれも飲まないように注意してください。**

「タダほど怖いものは無い」なのです。

そしてここからがさらに要注意です！

このピュアウォーター、ベビー用品関連を取り扱う会社からも販売されています。

「ミルクを作る時の水」として販売されていますがミルクを溶かした状態では飲んでも問題ありませんが（ミルクの成分が身体に良いか悪いかはまた別の問題です。ここは別の機会にお話したいと思います。）、この水をそのまま飲ませることだけはしないように気をつけてくださいね。



沸騰させた白湯も、水に溶け込んだ酸素や炭酸ガスを失った「体を壊す水」です。

昔は井戸水なので殺菌のために沸騰させ、赤ちゃんには湯冷ましを飲ませるとというのが常識でした。少量ならば構いませんが、湯冷ましばかり飲ませるのも、赤ちゃんの健康によいことではありません。

さらに水道水をそのまま煮沸させると残留汚染物質（トリハロメタン）を空気中にまき散らすこととなります。

子どもの身体・全ては水で変わる

●身体は水で出来ている

生まれたばかりの赤ちゃんは身体の75%が水。大人でも約60%が水です。

私たちは水で出来ていると言っても過言ではありません。

水で身体が満たされているからこそ血液が巡り、身体の隅々まで酸素や栄養を届け老廃物もスムーズに排出することが出来ます。

私たちの身体の中の水は大きく3つの役割を担っています。

- 1 細胞が活動をする場を提供
- 2 栄養分や酸素等の運搬と、老廃物等の排出
- 3 体温調整

この役目は主に血液とリンパ液が担っています。

身体に必要なものを供給し、老廃物を回収するのですが流れが悪いと身体は汚れる一方で、当然体調が崩れます。

流れの悪さは次の2つが原因です。

- 1 原料となる水が少ない
- 2 原料となる水が汚れている

アルカリ電解水を毎日たっぷりと飲むことによって、血流やリンパの流れが良くなり身体中の代謝が活発になります。

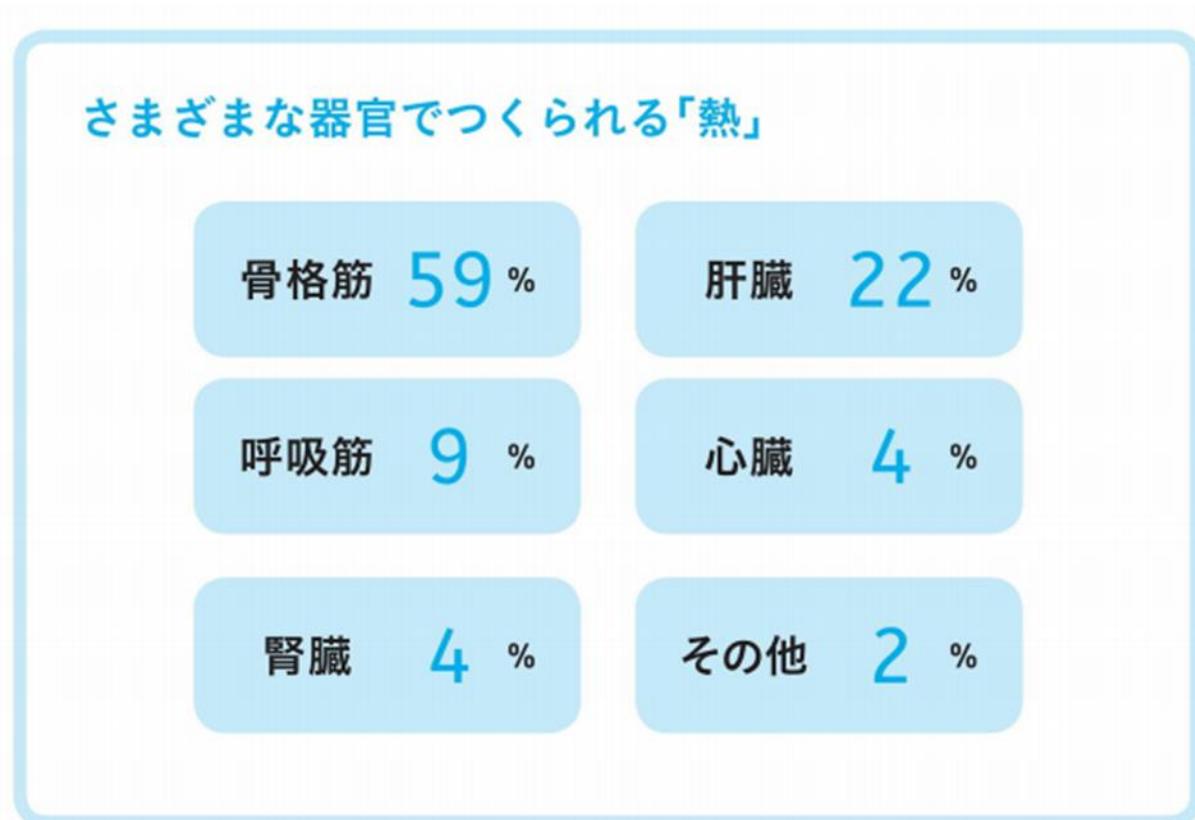
●身体を温めるのも「水」の仕事

最近子ども達にも低体温が蔓延して来ているようです。

水は身体の体温調整にも大きな影響を与えています。

体温は主に筋肉が生み出し、血液によって全身に運ばれます。

「水を飲むと身体が冷える」などと言われていますが全くの逆なのです。



水を飲むから、血液が流れ、熱が運ばれて、体温が上がるのです。

冷えるのは水のせいではありません。

ホルモン代謝が異常をきたしているか、血行が悪いからです。

常に良い水で身体を満たすことで低体温は改善されます。

●体内酵素は水が無いと働かない

私たちが生命活動を維持する上で重要な役割を持っているのが体内酵素。

生きるために必要な酵素を私たちは全て体の中に持っています。

食べ物の分解や消化、栄養分の吸収、栄養分の細胞への輸送、細胞内でのエネルギーの生産、新陳代謝の促進、免疫力の向上、酸化の防止・・・など数えきれないほどの役割が酵素の仕事。

この酵素の力を活かすのに必要不可欠なのが「水」

水が無いと酵素は働くことが出来ません。

さらに水の種類によっては酵素がうまく働くことができません。

「健康によい水」とは酵素活性力の高い水です。



●水を变えると、血流が变わる

アルカリ電解水を毎日飲むと身体が大きく変わります。

油を溶かす作用で、血液がサラサラになり、血のめぐりが良くなります。

血液がドロドロ状態になるのは、水不足だけでなく血中の脂質量が増えることも関係します。

食生活の乱れ、不規則な生活、ストレスなどが原因です。

サラサラの血液と共に、アルカリ電解水は体の隅々まで行き渡り、細胞ひとつひとつの不純物を溶かし出し排出します。

そうすることで体の様々な不調が改善され、本来あるべき状態に戻っていきます。

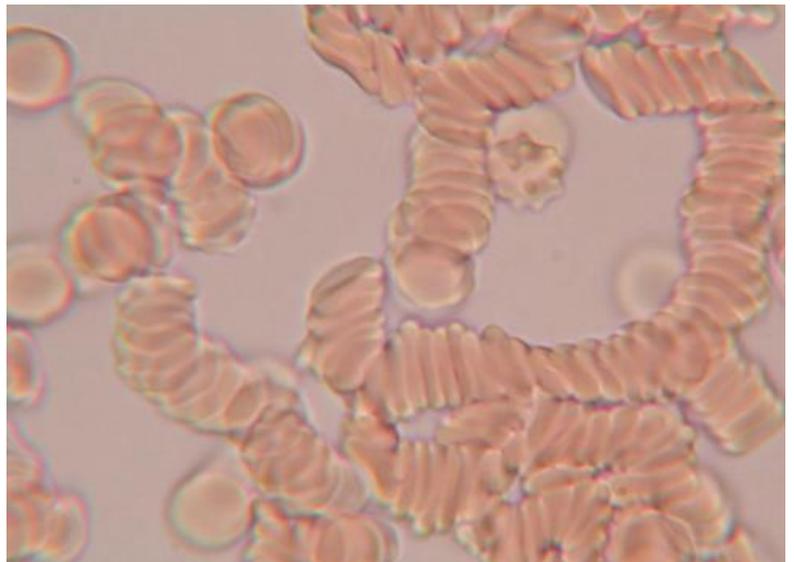
細胞の活動が活発になるのです。

そうなることで

新陳代謝が活発になり、

体温が調整され、

免疫力が上がります。



ベタベタにくっついた赤血球

血液がドロドロになるなんて大人の話と思うかもしれませんが、現代の子ども達にもとても多い現象です。

●アトピー肌がきれいに



アレルギー性皮膚炎は、特定の物質に身体が過剰反応することで起こるアレルギー反応です。

そこで効果的なのがアルカリ電解水による「体内クリーニング」。

体内にあるアレルギー反応を起こす毒素を排出することで改善につながりますが、完全に治癒するまでにさまざまなトラブルが起こります。「好転反応」と呼ばれるものです。

程度や期間は人によって異なりますが、平均すると半年から1年くらいでしょうか。

「好転反応」の重さ、長さ、はステロイド剤使用の長さに関係していると考えられます。

ステロイド剤を使用していると、体がもともと作っていたステロイドホルモンの量が減っていきます。外から入る薬に体が頼ってしまうのです。

ですので、ステロイド剤を止めても、すぐに症状を抑えるだけのステロイドホルモンは生成されません。長期間ステロイド剤を使用していた人ほど、治癒までに時間がかかってしまうのはそのためです。

時間はかかりますが、必ず良くなると信じて、アルカリ電解水を飲み続ける事が大切です。

次のページで重症のアトピー性皮膚炎が完治するまでの様子をご覧くださいませう。

大学生 M さんのアトピー性皮膚炎改善例

アルカリ電解水飲用スタート

排毒期間

排毒が進み辛い時期



かなり落ち着いてきました

約半年間で改善できました

この方はかなり重症でしたし、学生さんでしたので、アルカリ電解水を体重の1割飲みながら短期間での改善に取り組みました。

好転反応の辛い時期を乗り越え、みごとに人生を転換させました。

(お子さんのアトピーは心にも大きな負担となります。少しでも早く治療に踏み切っていただきたいと願います。)

結局、電解水ってどんな水？

ここまで読んで、水の大切さを知っていただけたかと思います。

何度も登場した「電解水」とは、水道水を浄水ろ過した水に電気を通してアルカリ性と酸性の水に分解した水です。

アルカリイオン水と呼ばれたりもしますが、アルカリだけでなく酸性イオン水も様々な用途で使える世界で一つだけの幅が広い水です。



⇐初期の電解水（シンノオル液）生成器

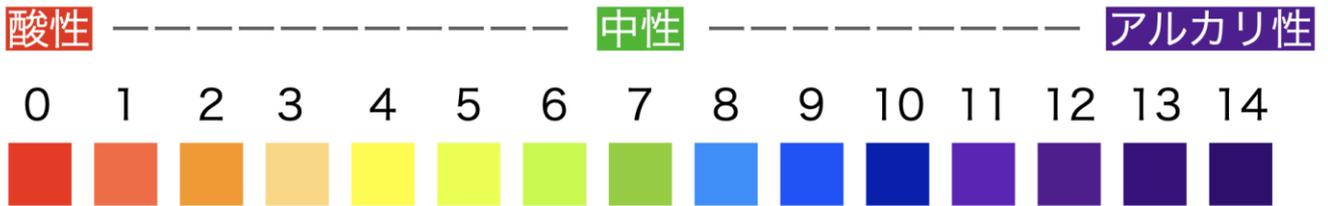
1931年（昭和6年）、諏訪方季医師が水と電機との関係に着目し、電解水の動植物への影響について研究が始まりました。この水を飲むことでたくさんの人の病が癒えていくことが確認されて来ました。

一体なぜなのか、その謎を解明したのが小羽田氏と当時東京警察病院勤務の篠原医師でした。

患者さんが水を飲む、食事に使う、肌の消毒に使う、それによって何が変わるのかを全て測定し、データ化したことからたくさんのことが分かってきたのです。

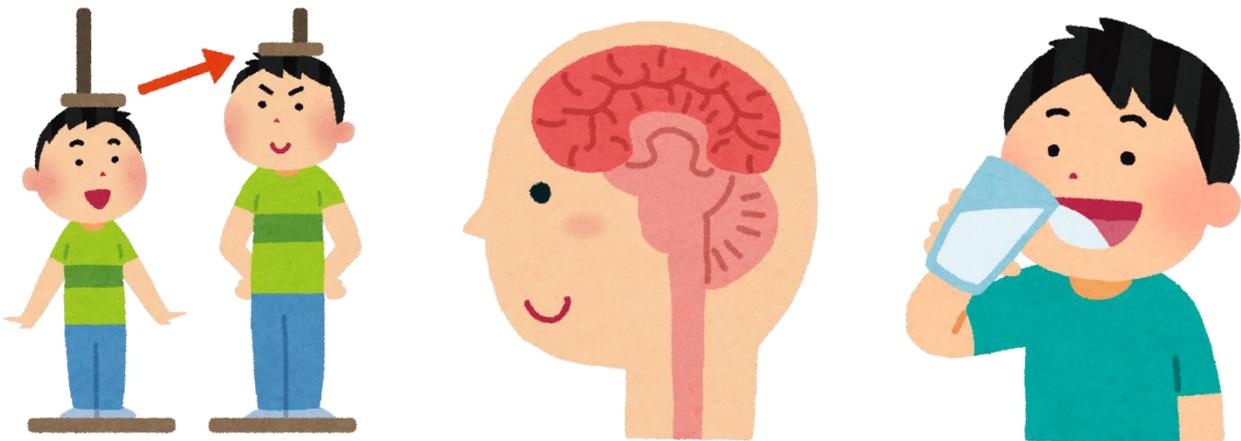
pH値によって分けられるそれぞれの水の特徴を、子ども達の成長という観点から見てみましょう。

強酸性水 pH2.4-2.7	酸性水 pH4.5-6.0	浄水 pH7.0	アルカリ水 pH8.5-9.9	強アルカリ水
さまざまな 洗浄・除菌に うがい・手洗いに ※飲めません	洗顔などの 美容に ※飲めません	ミルク、薬の服用 時に	・胃腸に良い水 ・炊飯、お茶に ・お料理、お酒に ・煮物やあく抜き	野菜・食器などさ まざまな洗浄に ※飲めません



●アルカリイオン電解水とは (pH 8.5~9.9) (飲用)

- ・飲むことで身体の中に溜まった様々な化学物質を溶かしだし、**排出する力**がある水。
- ・安心安全で美味しく、健康になるお料理を簡単につくれる水。
- ・イオン化したミネラルが子どもの成長と心身のバランスを整える。**骨が丈夫に!**
- ・血流が良くなることから**脳の働きが活発**になる。



●酸性イオン電解水とは (pH 4.5~6.0)

・肌を守りながら殺菌することが出来る水。

手洗い、うがい、歯磨き、などに効果を発揮する。(洗浄剤、うがい薬、歯磨きペースト、シャンプー剤、などの化学物質は経皮から吸収され病の元となる。効果よりも害の方が多い。)

・洗髪後、リンス代わりに使用。(洗浄でアルカリに傾いたpHを弱酸性に戻してケアする効果)

・アトピー肌やニキビ肌、肌荒れ、などの殺菌消毒剤として。

・肌に潤いを与えるアストリンゼントとして。

・洗顔に使うと効果的。



●強アルカリ電解水とは (pH 10 以上) (飲めません)

- ・強力な洗浄効果を持ったアルカリ性の水。

油污れ、食べこぼし、手垢や皮脂、血液、などの汚れを水の力だけで洗浄できる。

- ・野菜の汚れを徹底的に洗い流す。

普通の水道水では落ちない表面の様々な化学物質成分を根こそぎ洗い流すことができる。

- ・酸に弱いものへの強力殺菌消毒

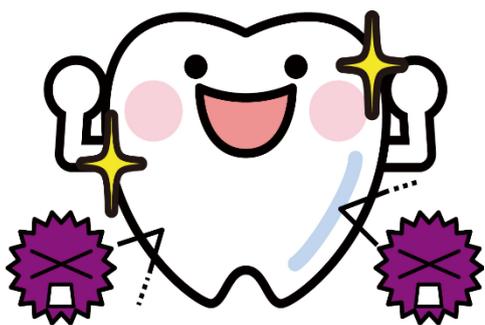


●強酸性電解水とは (pH 2.4~2.7) (飲めません)

- ・全ての菌、ウイルスを死滅させる強力殺菌剤。しかも肌には無害。

玩具の消毒、アトピー肌の消毒とケア、食器や調理器具の消毒、など。

- ・体に安全なうがい薬として。虫歯予防・口臭抑制にも効果的。



アルカリイオン電解水の底力

●腸が元気になれば免疫力が復活する

水道水を電気分解し、イオン化したアルカリ性の水。この水を飲むことで身体が大きく変化する最も大きな理由は「腸内環境が劇的に良くなる」ことです。

腸は第2の脳と言われるほど重要な臓器です。

なぜなら生命を維持する様々な体内酵素と免疫細胞が生み出される器官だから。

アルカリ電解水を飲むだけで身体は勝手に本来の生きるために必要な力を蘇らせます。

生まれた時から誰もが持っている力です。

大人に比べて子どもは本来の力を蘇らせる時間は早いのです。

体内に不要な化学物質が溜まり、腸が傷んでしまう前に水でケアしてほしいと願います。

●家族みんなが健康である大切さ

家族は全員が健康でなくては幸せとはいえません。

子ども達が健康でも親が病気がちでは不幸ではありませんか？

その逆も同じ。家族みんなが健康で笑顔が溢れている家庭であることは、子ども達が心身共に健康に育っていくためにとても重要なことです。

「良い水を飲む」、それだけで作り出すことが出来る最も簡単な方法がアルカリ電解水のある暮らしです。

●病気は自分の力で治すもの

何度も言いますが、病気を癒すのは「自分の持っている免疫力」です。

病院や薬の力ではありません。

医療機関とは緊急時の対処を求める場所と考えて下さい。

体調がおかしいな？と感じたら、身体を休め、体内の毒物を排出し、腸内環境を整えて体内酵素と免疫細胞が活発になるのをゆっくり待つ。これだけで充分です。

子ども達は不調を言葉で上手に表現出せません。

機嫌が悪い、元気がない時には早めにアルカリ電解水をしっかり飲ませてあげてください。

そして笑顔でお子さんを抱きしめて、安心させてあげてくださいね。

生きる力はこれだけで、どんどん大きくなります。



おわりに

水は空気と同じく、生きるために必要不可欠なものです。

今回は水の中でも、アルカリ電解水という世界で類を見ない特殊な水が身体を蘇らせる力があることを知っていただけたかと思います。

既に90年以上もの健康改善実績があり、さらに(株)生命の水研究所では10万件以上のデータからこの水の力を証明してきました。

私自身の体感だけではなく、このような背景があるからこそ今回「子ども達の健康と子育て」をテーマに冊子をつくりました。

数年間のコロナ騒動から、社会は大きな変化を迎えています。

心ある医師たちは「病を癒すことは薬ではできない！」と声を上げ始めました。

今まで何度も話題になっては、医療の闇とそれに繋がるマスコミからの圧力によって葬られてきた「アルカリ電解水」という水。

やっとならからが **病は水の力を借りて自分の免疫力で治すもの**、という時代の幕開けではないかと感じています。

日本の未来は子ども達が繋いでいくのです。

ところが今、生まれながらに病を抱えている子ども達が急増しています。

それでも生きようとする力を持って生まれてくるのです。

生命とはなんと力強く、尊いものなのかと感動を覚えずにはられません。

私たち親は、そんな子ども達を**健康な身体づくり**という面から応援していくことが最優先事項ではないでしょうか。

水で身体は変わります。

子ども達の人生が変わります。

この事実を知り、実践する親たちが増えることで、巨大ビジネスと化している医療の闇に巻き込まれることなく、健康で平和に生きることが当たり前な社会へと生まれ変わることを願っています。

免疫力改善研究所 KIREI 工房合同会社

代表・いぬたけまゆみ

〈補足〉赤ちゃんにアルカリ電解水を飲ませる時の注意点

- ・哺乳瓶やマグなどの容器は酸性水で洗って消毒をします。プラスチックなどの容器は煮沸消毒によって化学物質が溶け出す可能性があるため酸性水洗浄の方が安全です。
- ・アルカリ電解水はpH値 8.5 からスタートし、1週間くらいずつ様子を見ながらpH値を上げて行きます。最終的にはpH 9.8~9.9 で飲用します。

弊社では、ご家族の健康のお悩み解決にご協力させていただいております。

心身の健康に関してご心配なことなどございましたら、無料メール相談を承っておりますので、お気軽にご連絡ください。（すぐにお返事できない場合もありますが、必ずご連絡を差し上げますのでご了承ください。）

お問い合わせ右の QR コード
または以下 URL よりお願いします。

<https://kirei-koubou.com/inquiry/>



いぬたけ まゆみ

免疫力改善研究所・KIREI 工房合同会社 代表
(株)生命の水研究所 代表補佐

健康な身体をベースとして自由に楽しく人生を
クリエイトする生き方を提案している。

二人の娘の母。

ゆめのたねラジオ放送局から
健康に楽しく自由に生きる番組

「好きメシチャンネル」配信

KIREI 工房 HP ブログで公開中！

<https://kirei-koubou.com/>

免疫力改善研究所

KIREI 工房合同会社の取り組み

- ・体内循環改善衣料品開発
- ・醗酵薬膳時短食の研究開発
- ・自由に生きるマインド発信
- ・ASOBU イベント企画・開催